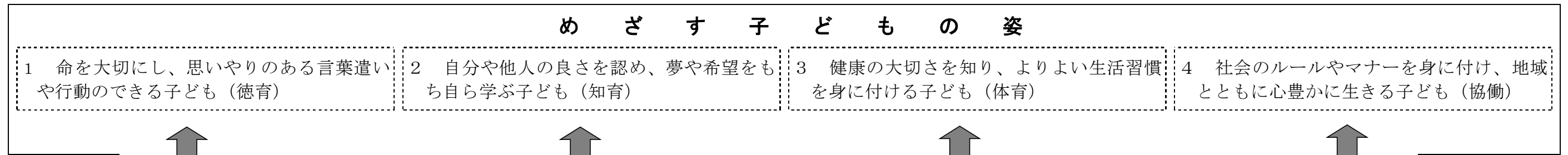


大府市学校教育の基本理念 心身ともに健康で知恵と愛を持つ児童生徒の育成



<p>① 道徳教育の推進 「考え議論する道徳」の授業を工夫し、一人一人の成長を見取る評価を行う。</p> <p>② 人権教育の推進 子どもたちの人権意識を高め、差別的な見方や考え方の根絶と思いやりのある言動ができる子どもの育成をめざす。</p> <p>③ いじめ・不登校・虐待への対応 子どもとの信頼関係を基盤として、子どもの変化を見逃さず、子どもからの情報がすぐに届く環境を維持する。 全職員が学校いじめ防止基本方針を踏まえ、いじめのない学校づくりを進める。</p> <p>④ 福祉教育の推進 すべての人が支え合って生きていける社会の実現に向けて、指導の工夫改善を図る。</p>	<p>① 確かな学力の育成 規律ある授業のもとで、ICT機器の活用を工夫しながら、「わかる・できる・楽しい授業」を実践する。 社会の変化に対応できる力を備えるために思考力・判断力・表現力の育成を核とした授業改善に努める。</p> <p>② 個を大切にした教育の推進 子どもの特性、一人一人の学びの特徴などを的確につかみ、個に応じた教育的支援や指導を全校体制で推進する。</p> <p>③ キャリア教育の推進 夢の実現と将来の社会的、職業的自立に向けて、キャリアパスポートを活用し、9年間を通して計画的に指導する。</p>	<p>① 健康づくり教育の推進 「サステナブル健康都市 おおぶ」の理念に則し、健康づくり教育を進める。 室内遊びが増加傾向にある現状を踏まえ、意欲的に運動しようとする姿勢を培う。</p> <p>② 生きる力を支える体力づくりの推進 健全な生活や運動など、望ましい生活習慣を自ら身に付けられるよう指導の充実を図るとともに、教科・領域で子どもの体力向上をめざす。</p> <p>③ 食育の推進 「早寝・早起き・朝ごはん」の取組を各校の実情に合わせて推進する。 望ましい食習慣の定着をめざし、教科・領域との連携を図りながら発達段階に応じた指導を進める。</p>	<p>① 地域活動への積極的な参加 ボランティア活動への理解と意欲を促し、地域の一員としての自覚をもち、地域の人々と協力しようとする子どもを育成する。</p> <p>② 防災・安全教育の推進 日常の生活指導を通して、災害発生時に自助と共助の精神で地域の防災や安全を担うことのできる人間の育成をめざす。 体験や訓練・救急法講習等を計画的に行い、より確かな実践力を高める。</p> <p>③ 環境教育の推進 教科・領域等の指導を通して、SDGs（持続可能な開発目標）の視点で環境に関わる問題を理解させ、協働して環境の保全や改善に取り組もうとする態度を養う。</p>
--	---	--	---

令 和 6 年 度 の 重 点

- 1 幼保児小中連携教育の趣旨を踏まえ、子どもたち一人ひとりの成長を見通した指導を進める。**
 - (1) 大府市幼保児小中連携教育の指針「きらきら」を実践基盤として、子育て関係施設との連携を密にして子どもたちの健全育成を図る。
 - (2) 子どもたち一人ひとりと向き合い、きめ細かな指導とともに、子どもたちが積極的に学び成長しようとする意欲を喚起する。
 - (3) 長期欠席者の日々の生活と居場所づくりについて、「おおぶレインボープラン」の実現を通して継続的に支援する。
- 2 授業に誇りと責任をもち、子どもたちがわかる・できる喜びを実感することのできる学習指導を進める。**
 - (1) 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実により、「主体的・対話的で深い学び」となるよう授業改善を図る。
 - (2) 「読み・書き・計算」など学習の基礎を定着させる。
 - (3) ICTを含む様々なツールを駆使して、複数の情報や考えをつないだり、関連付けたりして「深い学び」となる学習の展開を図る。
- 3 子どもたちの心を育てる道徳の授業・教育活動を進める。**
 - (1) 「考え議論する道徳」の授業を主軸とし、思いやりや責任感、郷土愛（大府市にゆかりのある人などの活用）を育てる活動を推進する。
 - (2) 「デジタル・シティズンシップ」の視点を取入れ、子どもたちの自立心や自律性を育成する。
- 4 子どもたちの体力・運動能力の向上に努めるとともに、運動の習慣化を進める。**
 - (1) 学校生活の中で体を動かす機会を多くするとともに、家庭生活においても意欲的に楽しく運動できるように啓発する。
 - (2) 体育の授業では、幼児期からの発達段階を踏まえ、運動の質と量について工夫改善を図りながら、指導にあたる。
- 5 家庭や地域と共に歩む学校づくりを進める。**
 - (1) 子どもや教職員の活躍する姿を保護者や地域の方々に積極的に公開することで、学校への信頼を一層深められるようにする。
 - (2) 職務の効率的な遂行を心がけ、教職員が明るく元気で、家庭や地域と共に歩む“チーム学校”を求め続ける。

